

資料 10

令和元年（2019年）5月24日
熊本市障がい者自立支援協議会

各部会報告資料

- ・子ども部会（P2-3）
- ・就労部会（P4-5）
- ・相談支援部会（P6）
- ・精神障がい者地域移行支援部会（P7-8）

子ども部会報告

1. 前年度（平成30年度）の部会の取り組みについて

（1）ミニ研修

（虐待防止について、高等学校における通級指導について、あゆみの教室について）

（2）KP5000の進捗状況、施設プラグの内容検討

（3）余暇活動支援マップの更新作業

（4）事例検討

2. 今年度の部会運営について

今年度は「教育と福祉の連携」をキーワードに、ミニ研修やテーマに応じて広く参加を呼び掛ける機会を設け、障がいのある子どもの支援者の連携を深める場とする。

（1）ミニ研修

- ・発達支援における子どものアセスメントについて
- ・特別支援学校の状況や就学説明会について
- ・SSWの活動について
- ・私学特別相談員の活動について
- ・あゆみの教室について（H30ミニ研修のその後）
- ・児童発達支援センター機能強化事業の活動報告
- ・湧心館の通級支援について（H30ミニ研修のその後）

（2）子どもプラグの構築（KP5000との連携）

（3）余暇活動支援マップの更新

（4）事例検討

新規事業所のフォローを兼ねた事例検討を実施。

（5）子ども部会主催の研修会実施

部会主催の研修会を夏頃初めて開催予定。

開催時期や対象者、研修テーマについては今後の部会で検討していく。

2019年度 子ども部会スケジュール

回	日程	議題（案） ※…講師
第1回	4月10日	・今年度の活動内容について ・ミニ研修（発達支援における子どものアセスメントについて）※子ども発達支援センター
第2回	5月10日	・ミニ研修（本市の特別支援学校の状況や就学説明会について）※教育委員会 ・今年度の年間スケジュールについて
第3回	6月5日	・本会議報告 ・子どもプラグの現状報告、部会からの意見出し ※KP5000
第4回	7月9日	・ミニ研修（SSWの活動について）※教育相談室 ・部会主催研修会準備 ・余暇支援マップ更新作業（割り振り）
第5回	8月16日	・部会主催研修会準備 ・余暇支援マップ更新作業（集約）
第6回	9月	☆部会主催の研修会【仮】
第7回	10月	・ミニ研修（私学特別相談員の活動について）※三気の里 浦田氏 ・部会主催研修会の反省
第8回	11月	・本会議報告 ・事例検討（相談支援事業所？サービス事業所？）
第9回	12月	・ミニ研修（あゆみの教室その後）※教育委員会 ・フリートーク（地域課題抽出）
第10回	1月	・ミニ研修（児童発達支援センター機能強化事業の活動報告）※済生会なでしこ園 ・フリートーク（地域課題抽出）
第11回	2月	・ミニ研修（湧心館の通級支援その後） ・来年度の部会活動について
第12回	3月	・本会議報告 ・来年度の部会活動について

就労部会報告

昨年度の取組について

平成 30 年度は、「企業就労班」、「当事者対話班」、「Be 助っ人班」「研修班」「事業所ネットワーク班」「工賃工場うるおい班」の 6 班に別れ、各班同士連携をとりつつ、それぞれに掲げた目標を達成するために取り組んできた。就労部会全体としては「就労フェア」を開催し、障がい者雇用の促進や福祉事業所の連携等を図る研修会や福祉事業所展示会等を実施した。

今年度の取組について

今年度は、これまでの班の活動を振り返り、班の再構成を行った。就労部会の目的に沿って、班ごとの活動を進めるとともに、部会全体の研修会や「就労フェア」等の企画を行う。

【就労部会の目的】

熊本の就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

会員個人として

- ・ 情報収集
- ・ ネットワーク
- ・ 学びの場
- ・ 自己成長
- ・ 相談

組織として

- ・ 広報活動
- ・ 人材育成
- ・ 地域貢献
- ・ 情報収集
- ・ その他

<昨年度>

【部会全体の取組】

- ・ 就労フェアの開催
- ・ ミニ研修の開催とグループワーク
- ・ 本会議と就労部会をリンクさせるため、運営委員会や就労部会にて本会議の報告を行う
- ・ 参加者の情報交換と情報共有

【運営委員会での取組】

- ・ 部会長、副部会長、各班のリーダー、サブリーダー、事務局で構成
- ・ 部会の活動内容を具体化し、方向性を決める
- ・ 部会の中で吸い上げた参加者の意見やリーダーの意向等を協議し（検討）審議（決定）する
- ・ 課題調査（各班のリーダーが参加者より抽出する、熊本市と協同する）

<本年度>

【各班の取組】

	グループ名	
①	企業就労班（仮）	一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動
②	ホッとワーク班	福祉事業所や関係機関の連携を深めるための活動、ツールづくり、情報発信
③	ワークイノベーション班	福祉事業所のより良い仕事作り、給与・工賃向上に向けた取り組み
④	お悩み解決班	就労支援に関するさまざまな問題点について、その解決に向けて検討する
⑤	当事者対話班	当事者会メンバーが主体となり、就労や生活・余暇について考える

【年間スケジュール】

	内容
4月	課題についてのグループワーク
5月	班構成、リーダー・サブリーダーの選任、作業内容の検討
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・各班作業 ・ミニ研修 ・グループワーク ・事例検討 ・就労フェア開催
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	年度の振り返り、次年度の計画
2月	
3月	

相談支援部会報告

□昨年からの経過

平成 30 年度迄は参加者を 5 班（事例検討、ガイドライン、新規事業所フォローアップ、拠点整備、法改正に伴う運用検討）に分けて協議を重ねてきた。班体制についてはメリットもあったが、デメリット（班以外の情報が理解しづらい等）もあった。また、部会にてより専門的な議論を行うことも必要だが「相談支援専門員の底上げ」を行う必要もあるのではないかとの意見も多かった。それらを踏まえ運営委員・障害保健福祉課とも協議を行い参加者に対するアンケート調査を実施し意向等の確認を行った。

今年度は従来の班体制を一旦解消し運営体制も刷新し部会運営を行うことになった。

□部会の年間テーマ

- ・「相談支援専門員とは」 ～1 から振り返る相談支援の在るべき姿～

□運営方法

・部会参加者の中から運営委員を選出し、障がい保健福祉課担当者と共に部会開催とは別日に運営委員会を開催し部会内容等を検討・企画していく。原則部会当日の 30 分前にも運営委員会を開催し当日の内容確認や準備を行う。

□部会開催日時

- ・参加者多数であるため、ウエルパルクまもと大会議室の使用ができる日で毎月 1 回。

□年間計画

	部会開催日時	運営委員会	部会内容
4 月	4/11、15：30～ ウエルパル	4/3、14 時～ ウエルパル	K P 5000 説明会（N P O 法人 K P 5000 原田氏より） 拠点整備状況説明 座談会
5 月	5/21、15：30～ ウエルパル	5/23、9 時半～ ウエルパル	担当者会議とは （講義、ロールプレイ、グループワーク）
6 月			事例検討、座談会
7 月			
8 月			
9 月			事例検討、座談会
10 月			
11 月			
12 月			事例検討、座談会
1 月			
2 月			地域移行支援部会との合同研修会
3 月			今年度の振り返り H32 年度事業計画について

【平成 30 年度の取り組み】

昨年度は、精神障がい者の地域移行の推進に向け、推進精神科病院と相談支援事業所との連携促進を目的とした研修を 2 回実施した。特に熊本市障がい者相談支援事業所連絡協議会との合同研修会では、地域移行の支援ポイントを学ぶとともに、事例を通して、支援の中の医療側・福祉側の役割の確認や、連携の方法等について検討するグループワークを実施した。

また、地域移行支援制度の啓発ツールとして 29 年度に作成した退院支援ポスターおよび地域移行支援リーフレットについて、精神科病院内へのポスターの掲示や、制度の説明等におけるリーフレットの活用をお願いし、入院患者さらには病院職員等の支援者に対しても地域移行支援制度を知ってもらえるよう啓発を進め、活用状況や効果等の確認を行った。

部会メンバーに対しても、定期的な研修やグループワークによる意見交換を行い、メンバーの知識の習得と支援スキルの向上、支援体制の整備を図った。中でも、ピアサポートを活用した病院や、実際に活動したピアサポーターによる活動報告と、ピアサポーターを交えた意見交換を行い、ピアサポートを活用した地域移行支援の方法を検討する機会も設けた。

そのほか、熊本県と合同で開催した地域移行支援研修会への参加や、区毎で取り組んでいる地域移行支援活動の進捗確認、今後の活動についての検討も行った。

【令和元年度の事業計画】

今年度初回の部会では、事業の概要説明と年間計画の確認を行い、グループワークにて地域移行への思いや、部会・区で取り組んでみたいことを話し合った。今後は以下の内容を実施予定。

◇ 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）のサービス利用促進に向けた検討

ポスターおよびリーフレットを有効活用してもらうよう、引き続き呼び掛けをしていく。また、地域相談支援の利用に関する調査・取りまとめを行い、サービス利用を進めていくために部会としてできることを検討していく。

◇ 医療機関および相談支援事業所の連携研修会の企画・開催

医療機関と相談支援事業所の連携強化や、地域移行に関する支援の知識・スキル向上のための研修会を実施し、地域移行・地域定着支援の情報と支援イメージの共有を図っていく。

◇ 全体研修の企画・実施

地域移行支援の基礎研修や事例検討、支援に関わる関係機関・専門職種による講話等を行うなど、部会メンバーの知識の習得・支援スキルの向上に向けた取り組みを引き続き行っていく。

◇ 区毎の地域移行支援への取り組みと進捗確認

区毎の地域移行支援活動の進捗状況の確認と課題の共有・報告を行う。またグループワークにて、各区の地域移行の体制整備に向けた検討も行っていく。

令和元年度 精神障がい者地域移行支援部会 年間計画(予定)

開催日 : 原則 第2火曜 9時30分～11時30分

開催場所 : ウェルパルクまもと 1階 大会議室

参加機関 : 精神科病院、障がい者相談支援センター、関係団体、
各区役所保健子ども課及び福祉課、こころの健康センター、精神保健福祉室

	内容	備考
4月	(事務局会議)	
5/21 (第3火曜)	・事業説明、年間計画確認 ・グループワーク	自立支援協議会 (5/24)
6/11	・地域移行支援に関する基礎研修 ・グループワーク	
7/9	【全体研修】 ・事例検討 ・ピアサポートに関する研修(活動報告、ピアサポーターとの意見交換) ・外部講師による講話 ⇒(案)①「病院訪問看護の役割と活用」 ②「訪問看護ステーションの役割と活用」 ・障がい福祉サービス利用の流れ・現状について	
8/6 (第1火曜)		
9/10		
10/8		自立支援協議会 (10/11)
11/12	【部会全体としての取り組み】 ・地域移行支援(個別給付)の利用促進のための検討 ・ピアサポートの積極的活用 ・ピアサポーターの部会参加 ・地域相談支援のマニュアル作成 ・地域移行支援の啓発 ・退院支援ポスター・地域移行支援リーフレットの活用 ・区毎の取り組みの進捗確認 など	
12/10	※ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業の参加	
1/14	※ 熊本県精神障がい者地域移行支援研修会(県主催)	
2月 (未定)	自立支援協議会 相談支援部会との合同研修	自立支援協議会 (2/21)
3/10	・今年度活動の振り返り ・次年度計画・目標の確認	

※ 熊本県地域移行支援研修会がある月は、部会は開催なし。
 詳細の内容については、部会参加者の意見を聴取しながら進める。
 毎回、部会終了後に事務局会議を実施。